

兵庫県保険医協会神戸支部 医科・歯科連携研究会のご案内

新時代の糖尿病治療

～糖尿病治療薬をどう選択し、どう組み合わせるのか？～

日時 12月3日（土）午後3時～

会場 兵庫県保険医協会5階会議室

講師 神戸大学医学部付属病院 糖尿病・内分泌内科

特定助教 岡田 裕子先生

参加費 無料

共催 ノバルティスファーマ株式会社

日本糖尿病協会
「療養指導医取得の
ための講習会」
「歯科医師登録医の
ための講習会」登録
予定
※当日受講票をお渡
しします

近年、インクレチン関連薬や尿細管におけるグルコース再吸収を抑制するSGLT-2阻害薬など、糖代謝異常に関連する様々なプロセスをターゲットとした糖尿病治療薬が登場している。さらに、一部の経口血糖降下薬については、DPP-4阻害薬+メトホルミンなど合剤の使用も可能となっている。

患者の病態や合併症、薬剤特性などに応じて、これらの治療薬を単独、あるいは併用して使用することにより、治療の幅が広がる一方で、その治療内容は極めて複雑になってきているともいえる。

本講演では、経口血糖降下薬および各種インスリン製剤の特徴および選択法について、また高齢者や腎機能障害を有する患者、肥満者などにおける薬剤選択について概説する。（岡田記）

*お問い合わせは TEL 078-393-1803 神戸支部担当 前川・小西まで

【参加申し込み】FAX 返信：078-393-1820-----

神戸支部 医科・歯科連携研究会に（ ）人、参加します

地区 _____ 医療機関・施設名 _____

代表者お名前 _____ 職 種 _____

TEL _____ FAX _____

兵庫県保険医協会

294号 2016年10月25日

神戸支部ニュース

発行 兵庫県保険医協会神戸支部

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F

兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1801 FAX/078-393-1802

保険請求事務講習会でスタッフら97人が請求の基本学ぶ

作成実習でスキルアップ



講師を務めた小谷圭先生



参加者でいっぱいとなった

協会は9月17日・18日に「初心者のための保険請求事務講習会（医科）」を協会会議室で開催。医療機関事務スタッフを中心に97人が参加した。小谷圭神戸支部幹事（灘区・こたに糖尿病内科クリニック）が1日目の講師を務めた。

同講習会は、協会発行の『保険請求の要点』をテキストに、保険診療や診療報酬の仕組み、窓口業務の基本など、保険請求に関する制度や事務について学ぶもの。医療事務初心者を対象に毎年5～6回開催しており、年間で500人以上が参加する協会の人気企画となっている。

1日目は小谷先生が「保険診療とは」「窓口業務」「各項目の点数」などについて講義。受

講者は薬剤の計算題などに挑戦した。

2日目は、症例をもとにカルテ3号様式やレセプト（手書き）の作成実習を行った。

2日間を通じて受講した参加者には修了証書が授与された。次回は11月に開催する予定。

保険請求事務講習会

日時 11月26日（土）15時～16時
27日（日）10時～15時

会場 協会5階会議室

お申し込み、お問い合わせは、

電話078—393—1803 研究部まで

健康と医療について語り合う 感想文

定期健診でがんのリスクは減らせる



参加者の質問に答える山崎峰夫先生

神戸支部は9月15日に、あすてっぷKOBEで健康と医療について語り合う会を開催した。これは聴覚障害者らが医療や健康についての情報を学ぼうと定期的に開催する「聴覚障害者の医療を考える会（いのちを考える会）」の講師派遣の要請に答えているもの。パルモア病院（中央区）院長の山崎峰夫先生が「がんに備える（その3）～子宮がんの場合～」と題して講演し、市民、聴覚障害者の方を中心に29人が参加した。参加者の感想文を紹介する。

今回初めて参加しました。それは、つい先月神戸市の子宮頸ガンの検診案内を手に検査をしたばかりだったからです。

先生は本題に入る前に子宮と膈周囲の臓器の説明から始まり、子宮頸ガンと体ガンの違い、それぞれのガンの特徴や転移についてのお話がありました。本題に入ると、進行過程や治療法などを始め、今話題になっているワクチンについてのお話もしてくださいました。一部専門用語もありましたが、絵図を入れてもらったことや、普段見ることのない摘出した子宮の写真には驚きましたが、それにも補足説明を頂き、素人の私でも意外と分かりやすく感じました。

日々の生活の中では病気について考えたくな

かったり、私も含めてですが根拠もなく「自分は大丈夫」と思っている人はいるのではないのでしょうか。しかし私自身も何かしらガンのリスク因子に当てはまる項目があったので、そこで大切なのが定期健診なのだと思います。リスク因子の有無ではなく女性である以上は他人事ではありません。

今回お話を聞いてみて、子宮頸ガンなら早期発見で医療費も死亡リスクも減らせること、子宮体ガンなら症状が出てからの検診で遅くないということが分かり、早速友人や家族にも今日の内容を伝えたいと思いました。丁寧なご説明をありがとうございました。

【森下 真知子】

「神戸市の国民健康保険料引き下げ、市独自の軽減制度の継続を求める」署名にご協力ください！

2018年に予定されている国民健康保険の県単位化にともない、神戸市が独自で行っていた保険料の軽減措置（独自控除制度）を廃止しようとしています。このままでは、高額な保険料を払いたくても払えず、滞納する世帯が増え、安心して医療を受けられない加入者がさらに広がる可能性があります。国民健康保険は県単位化されたあとも、保険料の決定権限は神戸市にあり、神戸市がその気になれば独自控除制度の継続は可能です。

神戸支部では、兵庫県社会保障推進協議会・神戸市協議会とともに、この独自制度の継続と国民健康保険料の引き下げを求める署名運動に取り組みます。

署名用紙は、11月初旬までに医療機関にお届けします。ぜひご協力よろしくお願ひします。



署名用紙

垂水区社保協が総会を開催

医療・介護のこれからを学習

会長に宮武支部幹事が再任

協会神戸支部が地域の介護施設や中小業者、婦人団体らとつくる垂水・社会保障を良くする協議会（垂水社保協）は9月11日、2016年度総会を開催。加盟団体から51人が参加し、2015年度のまとめと2016年度の計画と活動案を確認し、宮武博明神戸支部幹事が会長に再任された。

学習会として「医療・介護が危ない!? これからどうなる？ 社会保障 国保問題も含めて」をテーマに、西山裕康協会理事長が講演。政府が計画する医療・介護の患者・利用者負担増案の内容と、地域医療構想と病院機能報告制度に

より、ベッド数の削減が進められることなどを解説。社会保障の充実と正規雇用の拡大により、経済の好循環を作り出すこと、再分配と格差是正



講師を務めた西山裕康理事長

で国民の幸福と成長を実現することが必要だとした。